

# 令和元年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~		
	施策	06 文化 - 魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指します -		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	浦谷 健二	
		評価日	令和2年7月3日	
関連課	市民課、市民総合窓口課、協働推進課、学校教育課、社会教育課（図書館・公民館）			
目標	文化芸術を通して多様な市民の交流を図るとともに、ふじみ野市の文化的な魅力を発信することで地域の活性化につなげます。また、市民と文化芸術とをつなぐ人材や団体の育成を図ります。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 文化的な魅力の発見・発信 ○市内のアートスポットやアーティスト、ユニークな取組など、市の文化的な魅力を市民参加により発見・発信し、地域の活性化につなげます。</p> <p>(2) 文化の担い手の育成 ○次世代の文化創造を担う子どもたちの豊かな心や創造性を育むため、子どもの頃から文化芸術に触れる機会を充実します。</p> <p>○市民と文化芸術をつなぐコーディネーター、ボランティアなどの育成を進めます。</p> <p>(3) 文化芸術に出会う機会の提供と交流促進 ○文化芸術を通して、子育て世代、高齢者、障がい者、外国籍市民など多様な市民の交流を促進します。</p> <p>○多くの市民がいきいきと文化芸術活動に取り組める環境づくりを進めます。</p> <p>(4) 文化施設の維持管理・整備 市民が産業文化センター及び勤労福祉センターなどを快適に利用できるよう維持管理を行います。 文化施設整備基本構想・基本計画及び管理運営計画に基づき、施設の整備を進めるとともに維持管理・運営の準備を進めます。</p>			

## 2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数					
		説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数により交流の促進度を計る。					
		単位	施設・団体					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	5	6	9	12	15
		実績値	5	16				
	指標 2	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数					
		説明	アウトリーチ事業の中で学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターを育成することにより文化芸術に触れる機会の拡充を図る。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	5	8	8	8	8
		実績値	0	2				
	指標 3	指標名	文化芸術事業への参加者数					
		説明	市民が身近な環境で参加できる文化芸術の必要性を文化事業への参加者数で計る。					
		単位	人					
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	4,860	5,090	5,340	5,600	5,880	6,170	
	実績値	7,100	6,090					
指標 4	指標名	(仮称)東地域文化施設多目的棟整備事業の進捗率						
	説明	(仮称)東地域文化施設多目的棟の整備事業の進捗率を指標とする。						
	単位	%						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	10	40	100				
	実績値	10	40					
指標 5	指標名	(仮称)西地域文化施設整備事業の進捗率						
	説明	(仮称)西地域文化施設の整備事業の進捗率を指標とする。						
	単位	事業数						
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0	10	20	50	80	100	
	実績値	0	10					

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	45,042	115,408	473,199			
	人件費	27,319	28,199	28,366			
収入	特定財源	579	22,794	432,669			
	一般財源	71,782	120,813	68,896			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	文化芸術による交流促進事業	アートフェスタふじみ野2019や議場コンサート、ロビーコンサートなど、子どもから大人までが楽しめる文化芸術事業を実施した。	アートフェスタふじみ野2019には3,300人、議場コンサートは200人、ロビーコンサートは264人が参加し、文化・芸術に触れる機会を提供することで、文化芸術による交流の促進及び人材の育成を図った。	文化振興事業
取組	アウトリーチ事業	地域協働学校（コミュニティ・スクール）が設置されている上野台小学校、東台小学校に音楽家やクリエイターを派遣するとともに、令和元年度には、新たに西小学校、福祉施設等へ音楽家の派遣を行った。	上野台小のサマーチャレンジに200人、東台小のふれあいコンサートに400人、西小音楽授業に90人、福祉施設でのコンサート等に660人の方が参加した。クラシック音楽に触れる機会を提供するなど、次世代の文化芸術を担う子どもの豊かな心や創造性を育んだ。	文化振興事業
取組	文化の魅力発見・発信	アート発見・発信プロジェクトとして市民との協働により「ART88」を発行した。また、本庁舎のギャラリー及び大井総合支所の展示スペースの貸出しを行った。	市内に埋もれているアートプレイスやアーティストを市民目線で継続的に掘り起こし発信するとともに、小学生に作成した冊子を配付することで、市の魅力を高め、地域の活性化につながる効果を生み出した。	文化振興事業
取組	文化芸術活動未来応援事業	市内の若手芸術家やアーティスト等の自主的・創造的な文化芸術活動を支援し、乳幼児からシニア、障がいのある方まで、全ての世代を対象とする文化芸術事業を提供する。	令和元年度から新規で開始した事業であり、アーティストの人材発掘と活用を進めることで、市民が気軽に文化芸術に親しめる機会を提供し、地域の活性化の促進や市民の元気健康づくりに進めるとともに、魅力あるふじみ野市を創造していく。	文化振興事業
取組	文化施設の整備	文化施設の整備に向け、基本構想・基本計画の策定を行い、（仮称）東地域文化施設多目的棟大規模改修工事の実施設計を行った。また、（仮称）西地域文化施設、（仮称）東地域文化施設ホール棟の整備事業者の選定を行った。	（仮称）東地域文化施設多目的棟を大規模改修し、（仮称）西地域文化施設及び（仮称）東地域文化施設ホール棟を建替えることで、文化と人の交流拠点を提供する。	文化施設整備事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	文化振興計画の4つの基本方針「文化芸術による交流の促進」「文化的な魅力の発見と活用」「文化の担い手の育成」「地域文化の次世代への継承と発展」に基づき、ソフト面についてはアートフェスタふじみ野2019やアウトリーチ事業など様々な事業を展開した。また、令和元年度は新規事業として、ロビーコンサートや文化芸術活動未来応援事業を開始し、文化芸術に触れる機会や多様な市民の交流、コミュニティづくりの機会を提供している。
行政資源の活用	今後は、文化芸術コーディネーターと連携し、事業企画や文化芸術事業を担う人材やボランティアスタッフの育成などを行い、市民文化の醸成や次世代の育成を図るとともに、ふじみ野市の文化を発信することで地域の活性化につなげる。
取組の有効性	文化施設の整備については、令和元年度に「文化施設基本構想・基本計画」を策定し、（仮称）西地域文化施設及び（仮称）東地域文化施設ホール棟の整備事業者の選定を行い、（仮称）東地域文化施設多目的棟においては、大規模改修工事の実施設計を行った。市民が集まり、賑わいのある文化と人の交流拠点となる施設の整備を進めることで、未来につながる文化を創造するまちを目指す。
効果の達成	
効果が得られている	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		勤労福祉センター - 管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~			
	施策	06 文化 - 魅力の発信と人々の交流を通じ、未来につながる文化を創造するまちを目指します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立勤労福祉センター条例・ふじみ野市立勤労福祉センター管理運営規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例 勤労者その他の市民の教養、文化の向上と福祉の増進に寄与する。			
事務事業の内容	事務事業の目的				
	事務事業の経緯	昭和55年勤労福祉センター開館以来、事務事業の目的達成のための施設の維持・管理に努めている。			
	事務事業の概要	ふじみ野市立勤労福祉センター条例第1条に施設の施設設置目的を達成するため、施設運営と維持管理を行う。			
	令和元年度の主な取組	当該施設を市民が快適に、また安全に安心して活動できるよう施設の維持管理を実施した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.50
		人件費	4,048	3,989	3,989
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.10
		人件費	369	385	385
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.30	0.19	0.30
	人件費	441	253	0	
人件費計		4,858	4,627	4,374	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	510	889	6,661	
	委託料	28,272	29,144	10,941	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	7	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	298	35	30		
支出合計		33,505	34,442	22,006	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	1,553	2,500
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		33,505	32,889	19,506	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		293	288	168	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	利用人数（集会室含む）		
	説明	勤労福祉センター（集会室を含む。）を利用した延べ人数。文化教養を発表する場となっているかの指標。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	35,000	35,000	0
	実績値	37,693	34,196	
指標 2	指標名	貸出件数（集会室含む）		
	説明	勤労福祉センター（集会室を含む。）の延貸出数。文化教養を発表する場となっているかの指標。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	500	500	0
	実績値	491	443	
指標 3	指標名	ホール利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指数。 （（利用区分数）÷（利用可能区分数））×100		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	25.00	25.00	0.00
	実績値	24.60	18.90	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>勤労福祉センターの概要 【定員（収容人数）】 ホール 598名 集会室 70名 計 668名</p> <p>【施設提供】 598席のホールを持ち、コンサートから演劇、講演会、発表会まで、芸術・文化の各種多様な催し物に利用される多目的ホール。集会室はサークル、クラブ活動などの打ち合わせ、研究会などに利用されている。</p> <p>【開館時間】 午前9時～午後10時</p> <p>施設の利用状況 【令和元年度ホール利用内容】 リハーサル含む 講演会・講座 7回 / コンサート 9回 / カラオケ発表会 20回 / 芸能発表会 16回 / 式典 11回 / 映画会 1回 / 演劇 3回 / ミュージカル 2回 / 楽器発表会 6回 / 英語発表会 2回 / まつり 3回</p> <p>【令和元年度施設利用率】 ホール 令和元年度 利用可能区分 924回 / 利用区分数 175回 / 利用率 18.9% 集会室 令和元年度 利用可能区分 924回 / 利用区分数 363回 / 利用率 39.3%</p> <p>施設管理状況 令和元年度 主な施設修繕・工事の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労福祉センター客席誘導灯電池及び器具交換修繕 170,640円</li> <li>・勤労福祉センター防排煙設備感知器交換修繕 49,680円</li> <li>・勤労福祉センター集会室窓ガラス緊急修繕 61,192円</li> <li>・勤労福祉センター避難用出入口修繕 60,500円</li> <li>・勤労福祉センター自動火災報知設備煙感知器交換修繕 29,700円</li> <li>・勤労福祉センター控室空調設備緊急修繕 186,890円</li> <li>・勤労福祉センター給湯室ガス台緊急修繕 99,000円</li> </ul>
------------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度は、隣接する公民館大規模改修のため休館となるが、老朽化した施設を適正に維持して、再利用する際に安全に安心して利用できるよう、施設の安全管理を行なう。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	文化振興事業		前年度の方向性
			拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト		
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~	
	施策	06 文化 - 魅力の発信と人々の交流を通じ、未来につながる文化を創造するまちを目指します -	
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費		
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間	平成17~	評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術振興基本法、文化・スポーツ振興条例、絵画等展示要綱、後援等承認手続きに関する要綱、文化振興計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	全ての市民を対象に、身近な環境のなかで文化・芸術等に触れる機会を提供するとともに文化活動の環境整備を図り、市民の自主的・創造的な文化活動を推進し活力ある地域社会の実現をめざす。また、老朽化した公民館等の文化施設の整備を進めるため「文化施設整備基本構想・基本計画」及び「文化施設管理運営計画」を策定する。	
	事務事業の経緯	平成26年度より文化振興事業の主管課を協働推進課から文化・スポーツ振興課に移管し、平成27年10月1日「ふじみ野市文化・スポーツ振興条例」を制定した。また、平成28年度に「ふじみ野市文化振興計画」を策定し、文化振興審議会へ施策の具現化に向けた諮問を行いながら、文化振興施策を総合的に展開している。	
	事務事業の概要	平成28年度に策定した文化振興計画に基づき、文化振興事業に取り組む。平成29年度文化振興審議会の答申「文化芸術振興の財源確保の在り方及びその効果的な活用」を受け具体的な制度を構築するため、平成30年度も文化振興審議会へ「文化振興に係る助成制度のあり方について」を諮問し、4回にわたる審議を経て「文化芸術振興未来応援事業」として答申を受け、令和元年度から文化芸術振興の新たな助成制度を構築した。市民の文化活動支援の一環として市民に公共施設展示スペースを貸出し、発表の場を提供する。	
	令和元年度の主な取組	令和元年度「第1回文化芸術振興未来応援事業」を開始し、5事業を実施。市内アーティスト活躍の場及び多くの市民に文化芸術に触れる機会の提供を行った。「アートフェスタ」や「アウトリーチ」など子どもからシニアまで楽しめる文化芸術事業を包括連携協定団体、市内音楽家協会と連携し多くの参加を得るなかで人材の育成等普及啓発を進めた。誰でも気軽に文化芸術に親しめる場の提供として「ロビーコンサート」や「議場コンサート」を開催し、市内若手アーティストの活用と多くの市民参加を得た。	

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.10	0.80	0.60
		人件費	8,906	6,383	4,787
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.80	0.70
		人件費	1,841	3,076	2,691
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.11	0.00	1.18
	人件費	157	0	2,740	
	人件費計	10,904	9,459	10,218	
事業費	報酬	331	375	2,107	
	賃金	149	0	0	
	需用費	304	2,033	475	
	委託料	12,880	10,212	1,244	
	使用料及び賃借料	297	538	457	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	307	507	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	607	715	1,670	
	支出合計	25,316	23,641	13,938	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	35	46	47
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	300	650
		その他	164	180	188
	一般財源	25,117	23,115	13,053	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		220	202	112	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数		
	説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数の数により交流の促進度を図る。交流促進事業に参加、協力等を行った施設・団体数を実績値とした。		
活動	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	4	5	6
	実績値	5	16	
指標 2	指標名	文化芸術事業への参加者数		
	説明	市民が参加した文化芸術事業の参加者数。(前年度比5%増を目標値とする)平成30年度は、ひとてまプロジェクト3,700人が多くの割合を占めた。令和元年度はひとてまプロジェクトを予定しなかったが、結果的に前年度目標値の5%増を大きく上回った。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	4,860	5,090	5,340
	実績値	7,100	6,090	
指標 3	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数		
	説明	学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターの育成数を指標とした。平成30年度に新規で設定した指標。令和元年度アウトリーチ事業で学校等との調整、研修会講師に従事できるアーティスト2名を確保した。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	3	5	8
	実績値	0	2	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>文化振興計画の施策に基づき、アートフェスタなど市民への文化芸術事業の普及推進、アウトリーチ事業や文化芸術活動未来応援事業など新たな文化芸術を担う人材の育成等に積極的に取り組んだ。</p> <p>(1) 文化芸術による交流の促進</p> <p>アートフェスタふじみ野2019(実行委員会への委託事業として実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体：ふじみ野市音楽家協会、包括連携協定大学等(文京学院大、東邦音大、大東文化大、淑徳大)、ソコカふじみ野、ピバホーム埼玉大井店他</li> <li>・実施日時：12月8日(日)(7日(土：準備))総参加者：3,300人</li> </ul> <p>議場コンサート(議場を身近に感じいただき気軽な音楽コンサートを実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏：親子対象：東邦音楽大学OBアンサンブル 参加者100名</li> <li>・冬：一般対象：フルートとピアノのデュオ 参加者100名</li> </ul> <p>ロビーコンサート：水野友貴さんによるコンサート 開催数3回、延参加者264人</p> <p>(2) 文化の担い手の育成</p> <p>アウトリーチ事業(上野台小・東台小、福祉施設等へ文化芸術を届ける事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上野台小：サマーチャレンジ(3講座：延参加者200人)</li> <li>・東台小：11/9 地域協働学校ふれあいコンサート 参加者400人</li> <li>・西小：10/15 4年生の音楽授業にピアニストを派遣 参加者90名</li> <li>・福祉施設等への派遣(5か所、延参加者660名)</li> </ul> <p>文化芸術活動未来応援事業【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内アーティストの活動支援と市民が身近な地域でアートに触れ合う機会の創出</li> <li>・5事業実施(延来場者数：1376人)</li> </ul> <p>(3) 文化的な魅力の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アート発見発信VOL5(年1回発行。市民協働で作成)10,000部作成。</li> <li>・市民ギャラリーの活用(年間)市役所：16団体・3個人、支所：4団体、4個人</li> </ul>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から始まった「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」の取組みと「ふじみ野市文化振興計画」を連動させ施策を体系的に実施し実績をあげることで将来構想を着実に実行していく。
中長期的方向性	文化振興計画の4つの基本方針「文化芸術による交流の促進」「文化的な魅力の発見と活用」「文化の担い手の育成」「地域文化の次世代への継承と発展」に基づき、多様な市民の交流・コミュニティづくりにつながるアートフェスタ事業、子どもの頃から文化芸術に触れる機会提供としてアウトリーチ事業、市の魅力の発信・活用として、アート発見・発信、市民ギャラリー活用事業など、様々な文化芸術事業を通し、文化の次世代への継承と市民文化の醸成を推進し、新たな文化施設活用への基盤づくりと市民の心の豊かさ、元気健康づくりにつなげていくものである。
拡充	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	文化施設整備事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~		
	施策	06 文化 - 魅力の発信と人々の交流を通じ、未来につながる文化を創造するまちを目指します -		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成30年4月1日~	評価日	令和2年7月3日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針、ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画、ふじみ野市文化施設管理運営計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	同規模のホールを有する複数の公民館等の文化施設が耐震性の不足、躯体の老朽化、ホールの特定天井など市民の文化活動施設として早急に整備することが求められており、複合化、改築、大規模改修等の整備方針及び整備手法を「ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画」としてまとめ、整備事業を推進するものである。		
	事務事業の経緯	政策分野において、平成22年9月「公共施設適正配置計画」策定後、平成28年度「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」、平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」、「公共施設適正配置計画の検証結果及び施設整備・維持管理の今後の方針」などを策定し、それらの方針を受け、令和元年6月に「文化施設基本構想・基本計画」、令和2年3月に「文化施設管理運営計画」を策定した。		
	事務事業の概要	平成28年度に実施した「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」に基づき、平成30年度に整備内容の検討を行い、最終的に大井中央公民館（大井図書館含む）、勤労福祉センターについては建て替え、上福岡公民館・コミュニティセンターは大規模改修を行う。 また、整備した文化施設の管理運営の指針となる「文化施設管理運営計画」を令和2年3月に策定したことから、計画に基づき文化施設の維持管理及び運営の準備を進める。		
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設整備基本構想・基本計画の策定（令和元年6月）</li> <li>「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び「文化施設等の整備に係る方針」により、大井中央公民館、上福岡公民館・コミュニティセンター、勤労福祉センターの整備方針、整備手法をまとめる。</li> <li>文化施設整備アドバイザー業務委託（平成31年2月～令和2年6月30日 継続） 民間活力を導入した整備手法の検討、要求水準書、事業者募集要項等の作成、事業者の選定業務、文化施設管理運営計画の策定</li> <li>（仮称）東地域文化施設多目的棟の大規模改修工事に伴う設計図書の作成</li> </ul>		

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.10	1.10
		人件費	9,716	8,776	8,776
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	1.20	1.30
		人件費	1,841	4,613	4,998
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.46	0.00
	人件費	0	724	0	
	人件費計	11,557	14,113	13,774	
事業費	報酬	0	300	0	
	賃金	0	794	0	
	需用費	0	254	1,610	
	委託料	1,404	70,691	20,641	
	使用料及び賃借料	0	1	10	
	工事請負費	0	0	164,870	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	579	96	264,716		
	支出合計	13,540	85,525	465,621	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	20,000	407,800
		基金	380	715	21,484
		その他	0	0	0
	一般財源	13,160	64,810	36,337	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		115	567	313	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	文化施設整備基本構想・基本計画の策定の進捗率		
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰越明許費設定により 平成30年度80%、令和元年度(4月～5月)20% 計100%を指標とする。</li> <li>・「基本構想・基本計画」の検討については、教育委員会各委員会協議を経て文化振興審議会において「基本構想・基本計画(案)」を答申する。</li> <li>・令和元年度(4月～5月末)市内部での決定、パブリックコメントを経て計画決定する。</li> </ul>		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	80.00	100.00	0.00
	実績値	80.00	100.00	
指標	指標名	(仮称)東地域文化施設多目的棟整備事業の進捗率		
	説明	・(仮称)東地域文化施設多目的棟の整備事業の進捗率を指標とする。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	10.00	40.00	100.00
	実績値	10.00	40.00	
指標	指標名	(仮称)西地域文化施設整備事業の進捗率		
	説明	・(仮称)西地域文化施設の整備事業の進捗率を指標とする。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0.00	10.00	20.00
	実績値	0.00	10.00	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>(1) 文化施設整備基本構想・基本計画策定 平成30年10月18日に文化振興審議会へ諮問「新たな文化施設整備に係る基本構想・基本計画の骨子について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年取り組み：基本構想審議10/18、10/29、11/12、11/19(基本構想中間答申)</li> <li>・平成31年取り組み：基本計画審議2/5、4/12、4/17、4/26(最終答申)</li> </ul> <p>教育委員会における各委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館運営審議会、社会教育委員会、図書館運営協議会、資料館運営協議会で新文化施設の検討(平成31年1月～平成31年4月まで計5回)</li> </ul> <p>基本構想・基本計画のパブリック・コメントの実施 期間：5月14日～31日 提出者84名、提出件数184件、令和元年6月3日に計画決定</p> <p>(2) (仮称)東地域文化施設多目的棟の大規模改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計の策定にあたり、KDDI総合研究所と連携しリビングラボの手法を活用し市民ワークショップを開催し設計に意見を反映。開催日：平成31年4月14日、令和元年5月12日</li> <li>・令和元年12月13日入札公告、令和2年1月24日入札、2月7日仮契約締結</li> </ul> <p>(3) 文化施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設基本構想・基本計画の策定に伴い、6月4日に文化施設整備事業実施方針の公表</li> <li>・7月30日要求水準書(案)の公表、9月30日特定事業の選定、募集要項等の公表</li> <li>・12月16日事業者と対面対話の実施、1月29日提案書の提出、3月18日プレゼンテーションの開催、審査を行い優先交渉権者としてクリーン工房グループに決定</li> </ul> <p>(4) 管理運営計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営計画の策定にあたり、KDDI総合研究所と連携しワークショップを開催して管理運営計画に意見を反映。開催日：令和元年12月15日、令和2年1月11日</li> <li>・パブリック・コメントの実施期間：令和2年3月9日～3月27日 提出者40名、提出件数103件</li> </ul>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	老朽化した公民館等の文化施設を市民の生涯学習活動、市民活動、文化芸術活動、コミュニティ活動の拠点施設とするため、整備計画の検討を行い、大井中央公民館と大井図書館は、ホール部門、創造育成部門、図書館部門を複合化して(仮称)西地域文化施設として新築する。また、上福岡公民館・コミュニティセンターは大規模改修し、勤労福祉センターは建て替えることで、東地域の文化の拠点を整備する。
中長期的方向性	令和2年度は、(仮称)東地域文化施設多目的棟の大規模改修工事を4月1日から着工し、令和3年4月のリニューアルオープンを目指し業務を進める。(仮称)西地域文化施設の整備については、令和2年3月に優先交渉権者が決定し、令和2年第2回定例会で契約議決を経てから、基本設計、実施設計、解体設計に着手し、令和3年3月から工事に着手を予定する。
拡充	